

# DIAMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）

追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「DIAMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）」は、2019年2月8日に第147期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じ、実質的に外国債券および国内株式を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年8月9日～2019年2月8日

第142期	決算日：2018年9月10日	
第143期	決算日：2018年10月9日	
第144期	決算日：2018年11月8日	
第145期	決算日：2018年12月10日	
第146期	決算日：2019年1月8日	
第147期	決算日：2019年2月8日	
第147期末 (2019年2月8日)	基準価額	7,607円
	純資産総額	227百万円
第142期～ 第147期	騰落率	△3.3%
	分配金合計	60円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

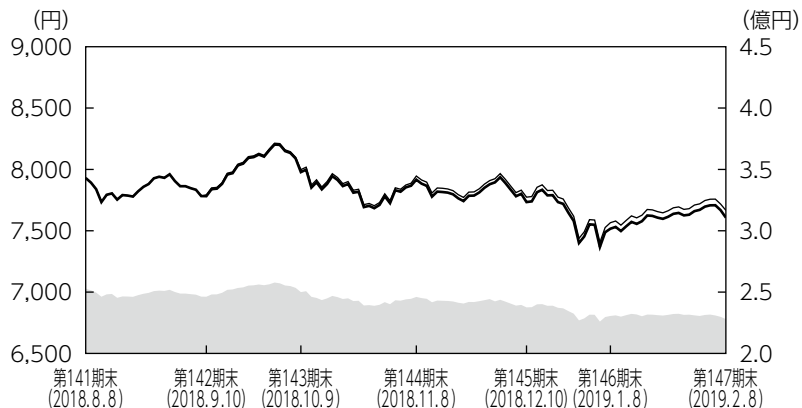
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第142期首：7,930円  
 第147期末：7,607円  
 (既払分配金60円)  
 騰落率：△3.3%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

株式市場の下落や世界的な景気減速懸念等を背景に主要国の金利が低下（価格は上昇）したことがプラスに寄与しました。一方、米中問題の激化懸念や世界的な景気減速懸念等を背景に国内株式市場が下落したこと、多くの高金利通貨に対して円高が進行したこと等がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
高金利ソブリン・マザーファンド	△0.1%
日経225インデックスファンド・マザーファンド	△9.3%

## 1 万口当たりの費用明細

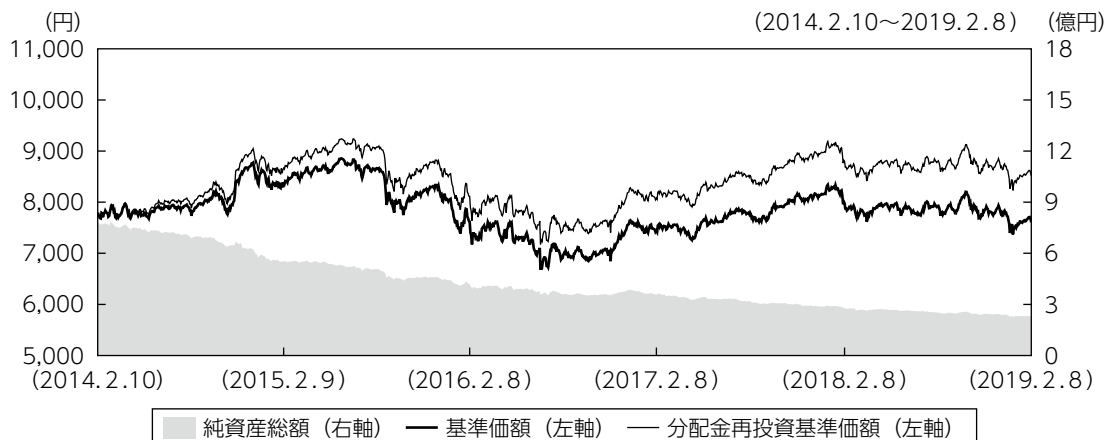
項目	第142期～第147期 (2018年8月9日 ～2019年2月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	44円	
(投信会社)	(21)	(0.272)	
(販売会社)	(21)	(0.272)	
(受託銀行)	( 2)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	1	0.018	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	( 1)	(0.018)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
合計	46	0.589	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年2月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年2月10日 期首	2015年2月9日 決算日	2016年2月8日 決算日	2017年2月8日 決算日	2018年2月8日 決算日	2019年2月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 7,734	8,367	7,617	7,440	7,977	7,607
期間分配金合計 (税引前)	(円) —	285	230	140	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	12.1	△6.4	△0.4	8.9	△3.2
純資産総額	(百万円) 776	552	419	358	279	227

- (注) 当ファンドのコンセプトは、リスク分散を図りながら、国内の株式市場全体と特定の高金利国のエクスポージャーの取得をめざしたものです。前記のコンセプトに適った一般に公表された指数が存在しないため、また当ファンド全体で特定の指数等を意識した運用を行うものではないことから、当ファンドではベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

外国債券市場では、投資対象国の大半の国の債券利回りが低下（価格は上昇）しました。米国、カナダ、英国、タイでは利上げも観測されましたが、投資家の利回り追求の動きにより、全体として利回りは低下しました。メキシコでは、利上げに加えて、NAFTA（北米自由貿易協定）交渉の影響などが嫌気され、利回りは上昇（価格は下落）しました。

国内株式市場は、2018年10月上旬にかけて堅調に推移したものの、その後は、米国長期金利の上昇が嫌気され世界同時株安の展開となりました。年末にかけても、FOMC（米連邦公開市場委員会）の利上げ決定を受け、米国株式市場が下落したことなどから弱含みの展開となり、日経平均株価は一時20,000円を割り込みました。作成期末にかけては、パウエルFRB（米連邦準備理事会）議長が、金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから上昇に転じたものの、前作成期末比で下落となりました。

為替市場では、複数の投資対象国で利上げが観測されたものの、2018年第4四半期に発生した株安に端を発するリスク回避の流れで円が選好された結果、多くの通貨は対円で下落しました。また、アジア通貨への資金流入の流れが見られ、タイバーツは上昇しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

高金利ソブリン・マザーファンド70%、日経225インデックスファンド・マザーファンド30%を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、各マザーファンドの組入れを行いました。

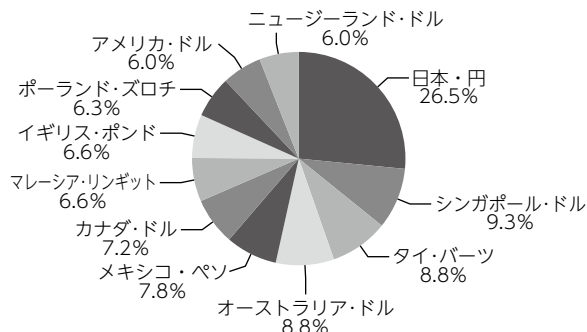
### ●高金利ソブリン・マザーファンド

期中の組入比率について、英国、マレーシア、米国を比較的低位に、メキシコ、タイ、ニュージーランドを比較的高位に保ちました。ボラティリティ（価格の変動性）の高まる局面では、メキシコのウェイトを引き下げるなどリスク回避行動を選択しました。

### ●日経225インデックスファンド・マザーファンド

ベンチマークである日経平均株価に連動する投資成果を目標に運用を行いました。具体的には、日経平均株価の計算手法に合わせて、現物株式では原則として日経平均株価の採用銘柄に等株数投資を行いました。また、ベンチマークとの連動性を維持するため、日経平均株価指数先物取引を積極的に活用し、実質組入比率を高位に保つように努めました。その結果、ファンドの投資成果がほぼ日経平均株価に連動する運用を行うことが出来ました。

## ○通貨別構成比



(注) 比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

## ■分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
	2018年8月9日 ～2018年9月10日	2018年9月11日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月8日	2018年11月9日 ～2018年12月10日	2018年12月11日 ～2019年1月8日	2019年1月9日 ～2019年2月8日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%
当期の収益	8円	10円	8円	7円	8円	10円
当期の収益以外	1円	-円	1円	2円	1円	-円
翌期繰越分配対象額	187円	204円	202円	200円	198円	201円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

外国債券および国内株式に分散投資する商品性の観点から、今後も各資産の基本配分比率を維持するよう、各マザーファンドへの投資を実施します。マザーファンドの組入比率につきましては、高位の組入れを維持します。

### ●高金利ソブリン・マザーファンド

市場の不確実性が高まる中、安全資産への逃避による円高傾向は一定期間続く可能性が高い一方、金利については足元の急激な低下による反動からゆるやかに上昇すると見えています。今後も一定の信用格付以上を有する国の中から、為替予約取引の流動性、投資規制、市場規模等を勘案し、相対的に金利の高い通貨を選定し、各国の財政状況やファンダメンタルズ、インフレリスクを注視した運用を継続します。

### ●日経225インデックスファンド・マザーファンド

引き続き、日経平均株価に連動する投資成果を目標に運用を行います。原則として日経平均株価の計算手法に合わせて等株数投資を行います。日経平均株価指数先物取引を積極的に活用して実質組入比率を高位に保ちます。最適な取引手法の選択により運用の効率性を高め、取引コストを最小限に抑制することで、日経平均株価と同等の騰落率を実現するように努めます。日経平均株価の構成銘柄が変更される場合にも、指数算出基準に則り適切に対処していく方針です。

## お知らせ

■当投資信託が組入れている「日経225インデックスファンド・マザーファンド」において保有しているオリンパス株式会社の株式について、同社による有価証券報告書等の虚偽記載により当投資信託が被った損失の回復を図るために提訴した損害賠償請求訴訟が和解により終結したため、2018年9月に当該和解金を計上いたしました。

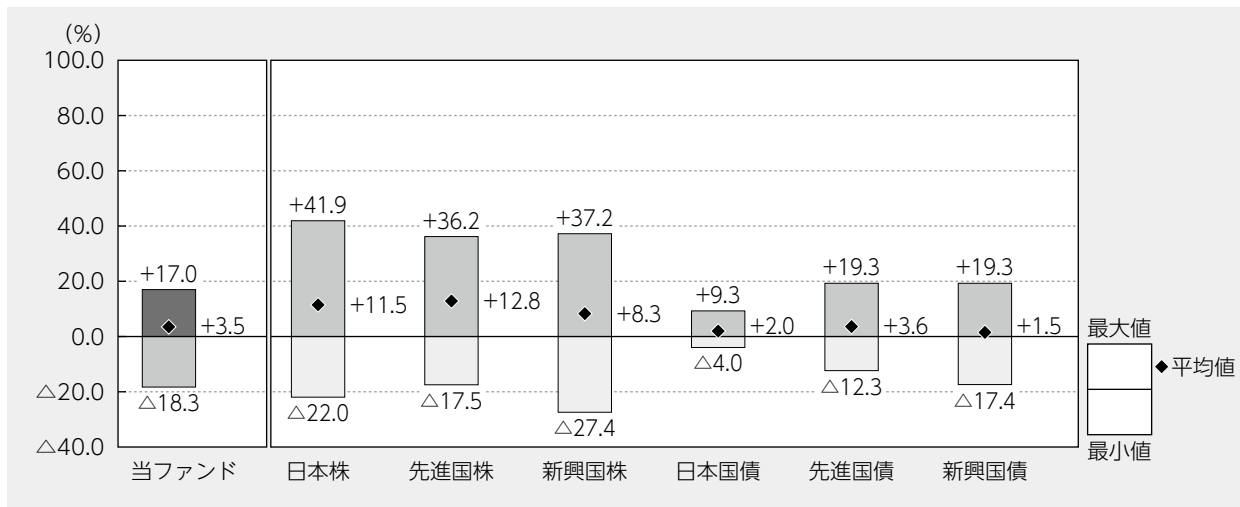
(2018年9月11日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年9月28日から無期限です。	
運用方針	実質的に外国債券および国内株式を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	D I AMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）	高金利ソブリン・マザーファンド受益証券および日経225インデックスファンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	高金利ソブリン・マザーファンド	高金利国のソブリン債券を主要投資対象とします。
	日経225インデックスファンド・マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	D I AMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）	各マザーファンド受益証券への投資に当たっては、委託会社が独自に定める基本配分比率に従い配分するものとします。基本配分比率は、市場動向等を勘案し、変更する場合があります。
	高金利ソブリン・マザーファンド	景気・金利・為替動向、財政・金融政策を中心としたファンダメンタルズ分析に基づき、投資対象銘柄の発行規模やポートフォリオの地域分散を考慮した上で、主として高金利国のソブリン債に投資し、収益を追求します。なお、組入対象国および国別配分は特に限定しません。運用指図に関する権限は、アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッドに委託します。
	日経225インデックスファンド・マザーファンド	原則として日経平均株価（日経225）採用銘柄の中から200銘柄以上に等株数投資します。
分配方針	決算日（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子、配当等収益および売買益（評価益を含む。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年2月～2019年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年2月8日現在）

#### ◆組入ファンド等

（組入ファンド数：2ファンド）

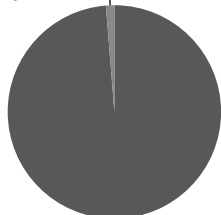
	第147期末
	2019年2月8日
高金利ソブリン・マザーファンド	70.6%
日経225インデックスファンド・マザーファンド	28.1
その他	1.3

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

#### ◆資産別配分

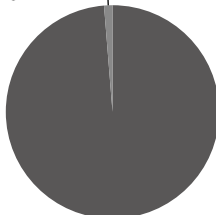
その他  
1.3%



親投資信託受益証券  
98.7%

#### ◆国別配分

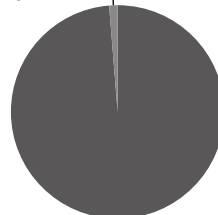
その他  
1.3%



日本  
98.7%

#### ◆通貨別配分

その他  
1.3%



日本・円  
98.7%

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

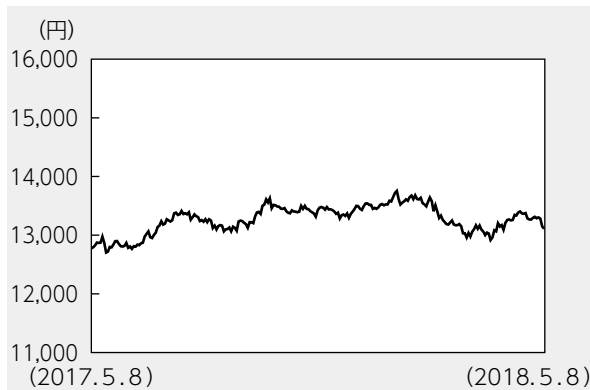
項目	第142期末	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末
	2018年9月10日	2018年10月9日	2018年11月8日	2018年12月10日	2019年1月8日	2019年2月8日
純資産総額	246,244,152円	250,017,972円	246,049,210円	237,558,705円	230,513,870円	227,948,766円
受益権総口数	316,424,481口	313,399,405口	310,816,474口	307,143,981口	306,663,957口	299,650,821口
1万口当たり基準価額	7,782円	7,978円	7,916円	7,734円	7,517円	7,607円

（注）当作成期間（第142期～第147期）中における追加設定元本額は562,035円、同解約元本額は19,549,069円です。

## 組入ファンドの概要

【高金利ソブリン・マザーファンド】（計算期間 2017年5月9日～2018年5月8日）

### ◆基準価額の推移



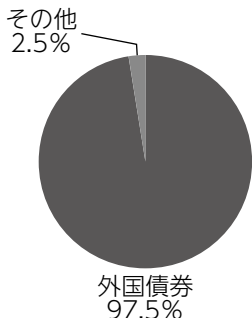
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MEXICAN BONDS 6.5 06/09/22	メキシコ・ペソ	12.5%
THAILAND 1.875 06/17/22	タイ・バーツ	10.7
SINGAPORE 2.25 06/01/21	シンガポール・ドル	10.0
AUSTRALIAN 5.5 04/21/23	オーストラリア・ドル	9.6
POLAND 2.5 01/25/23	ポーランド・ズロチ	9.3
CANADA 1.75 03/01/23	カナダ・ドル	9.3
NEW ZEALAND 5.5 04/15/23	ニュージーランド・ドル	9.2
US T N/B 2.625 02/28/23	アメリカ・ドル	8.3
UK TREASURY 0.75 07/22/23	イギリス・ポンド	6.3
MALAYSIA 4.16 07/15/21	マレーシア・リンギット	5.4
組入銘柄数	12銘柄	

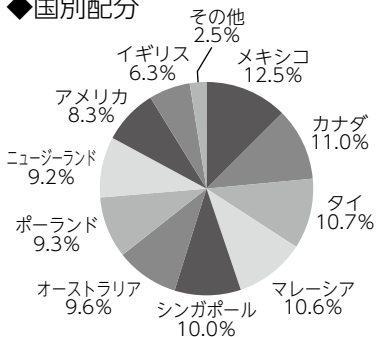
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	5円	0.040%
(その他)	(5)	(0.040)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	5	0.040

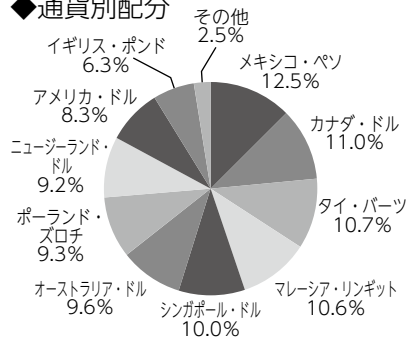
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（13,270円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

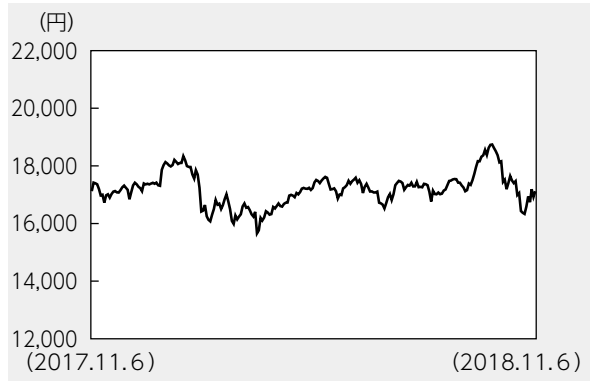
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## 【日経225インデックスファンド・マザーファンド】

## ◆基準価額の推移



(計算期間 2017年11月7日～2018年11月6日)

## ◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
ファーストリテイリング	日本・円	8.8%
ソフトバンクグループ	日本・円	3.9
ファナック	日本・円	3.2
東京エレクトロン	日本・円	2.3
KDDI	日本・円	2.2
ユニー・ファミリーマートホールディングス	日本・円	2.1
ダイキン工業	日本・円	2.0
テルモ	日本・円	1.9
京セラ	日本・円	1.9
エーザイ	日本・円	1.5
組入銘柄数	225銘柄	

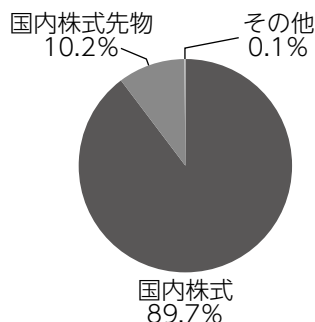
## ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	1円 (0) (1)	0.007% (0.000) (0.007)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	1	0.007

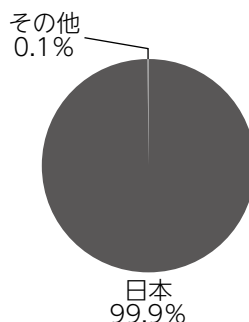
## ◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
日経225	買建	10.2%
組入銘柄数	1銘柄	

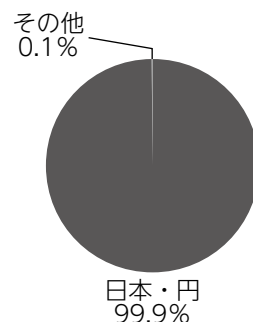
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（17,192円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

